

平成31年4月7日執行

新潟県議会議員一般選挙公報

新潟市南区選挙区

新潟県選挙管理委員会

7年ぶりの選択! 輝く南区を!

現状 自家用車が必要な町

交通の格差を解消します

今よりも頻繁で小回りのきく、高齢者にも使いやすい区バスを、南区全域に実現します。直行バスを増便、タクシーを今より利用しやすくします。高校生のバスの通学費の補助に取り組みます。

世界における再生可能エネルギーの成長はめざましく、風力と太陽光の累積設備容量は、すでに原発を抜いています。地域の市民団体や企業と連携し、自然エネルギー事業を積極的に導入します。

原発から自然エネルギーへシフトします

日本で9基の原発が再稼働

現状 農業で暮らせない

戸別所得補償制度の復活を国に求めます

農地に暮らす全ての方々のための収入の確保、種子の保護、農作業の安全のために力を尽くします。昨年国連が採択した「小農と農村で働く人々の権利に関する宣言」(小農宣言)を新潟独自の方法で実現します。

笑顔あふれる
南区

南区を自然と産業が豊かに調和する「新潟で一番住みやすい地域」に変えます。

子育て予算を拡充、待機児童を解消します。いじめ、虐待防止に全力で取り組みます。給食費の無償化をすすめ、まだ南区にはない幼児保育室の設置に取り組みます。特養ホームを増やし、在宅介護の充実をはかります。

子どもや高齢者が安心して暮らせる社会を実現します

安心して子育てできない、老後が不安

私は2011年東日本大震災による原発事故がきっかけで新潟市へ母子避難して参りました。今は大通黄金に家族で在住しています。起こるはずのないと思っていた原発事故は私たちの運命を大きく変え、当たり前前に暮らすという事がどれだけ尊いことなのかを思い知りました。また、避難生活を送る中で、私たちの声が行政や政治に反映されづらいと、もどかしさや諦めを感じてきました。

お世話になった新潟の皆様のお役にたきたい、南区の豊かな自然、農業を守り、子どもたちに誇りをもつて南区の伝統、文化を引き継いでもらいたいと思います。原発事故で故郷を失った私だからこそ、信念を貫きます。

心からご支援をお願い申し上げます。

プロフィール

●血液型/O型 ●家族/夫と娘2人で大通黄金に在住
●趣味/常備菜や酵素ジュース、味噌や梅干し作り
1974年 岩手県に生まれる
1991年 久慈農林高校卒業
1993年 アマチュアスノーボーダーとして各大会を回りながらスポンサーを獲得
1999年 福島県にて結婚。二児を出産し2008年に念願のマイホーム建設
2011年 東日本大震災、福島原発事故発生
2012年 新潟市へ母子避難。避難者として多様な市民活動に参加
2015年 市民連合@新潟発足、共同代表に
2016年 参議院選挙、県知事選挙、東議院選挙と市民の立場から政治に関わる



無所属
いそがい潤子
大通黄金に家族で在住



郷土に笑顔を 三期目の挑戦

- 農業 所得を高め担い手が意欲を持って取り組める、魅力ある農業を推進します。
- 四車線化 国道8号線の四車線化、中央環状道路、大郷橋、庄瀬橋の早期実現を目指します。
- バスの利便性 新潟駅から燕三条駅までのバス交通の利便性を高めると共に、利用率の高い時間帯の本数を増やすなどの対策で、公共交通の充実を図ります。
- 集中豪雨対策 暮らしを守る防災減災については、集中豪雨に耐えうる中之口川を含めた治水対策に力を入れます。

- 待機児童ゼロ 幼児教育無償化の推進と魅力ある保育事業を推進し、潜在待機児童ゼロを目指します。
- 地域医療 高齢化に対応した地域医療介護サービスを推進します。
- 大 風 合 戦 県指定無形民俗文化財である白根大風合戦を守り、会場の整備を充実させます。
- 伝 統 文 化 各地域のお祭り、伝統文化を大切にします。
- 脱 原 発 社 会 原発再稼働に反対します。原発に依存しない社会を目指します。

ゼロに戻すか、前に進むか皆さんが、夢を語って
笑顔あふれる地域になれるよう全力を尽くします。



自由民主党公認
かさはら
笠原よしむね